

令和6年度 相談窓口担当者向け自殺予防相談対応講座実施要領

1 目的

令和5年の自殺者数は前年より減少したものの高止まりの状態が続いている（全国21837人、佐賀県121人）。

自殺は「追いつめられた末の死」とも言われ、健康問題をはじめとしたさまざまな要因が重なり合っ起こるといわれている。佐賀県の自殺者の内訳をみると、40～50歳代の働く世代、60歳以上の高齢者の占める割合が高い。特に高齢者には身体的な疾患を抱える割合が多く、そのストレスや、近親者の死などの喪失体験、孤独や孤立などさまざまなリスク要因が重なっている。

各種生活や医療に関するサービスなど様々な相談に対応する窓口では、こうした自殺の背景になりうる要因（対象者：失業、貧困、健康問題がある方など）の相談に対応することから、「死にたい」という気持ちを抱える相談者に接すると考えられる。

そこで、各種相談にあたる職員が自殺予防についての正しい知識を身につけ、相談者の自殺の危険に気づき、その危険度に応じて適切な手段を講じることができること、また、相談者のニーズを整理し現実的な解決に向けた適切な相談窓口につなぐことができることを目的に本研修会を開催する。

2 内 容 別紙プログラムのとおり

3 対象者

- ① 経済、雇用、暮らしや健康問題等の悪化等による自殺リスクが高い人が来所相談する可能性が高いと考えられる相談窓口担当者（生活自立支援センター、ハローワーク、DV総合支援センター、女性相談窓口、少年サポートセンター、労働局、商工会議所、県保健福祉事務所、市町自殺対策担当、地域包括支援センター等）
- ② 【基礎編】 相談対応の経験がおおむね3年目までの方
* 5/22開催した精神科基礎研修会と同時受講を推奨します。
- ③ 【中級編】 相談対応の経験がおおむね3年目以上の方
* 基礎編と合わせて受講可能です。内容は異なります。

4 日 時

【基礎編】 令和6年9月18日（水） 9：30～16：30（受付9：00～）

【中級編】 令和6年11月8日（金） 13：30～17：00（受付13：00～）

5 場 所

佐賀県精神保健福祉センター2階（研修室）小城市小城町178-9

6 定 員

各回定員25名まで（申し込み締め切り後、受講の可否をお知らせします）

同一所属からの参加は2名以内とする。

7 申込方法

別紙ちらしの二次元バーコードもしくはURLから申し込む

申込締め切り：【基礎編】令和6年9月11日（水）【中級編】令和6年10月31日（木）

8 問合せ先 佐賀県精神保健福祉センター 相談・指導担当 Tel 0952-73-5060

令和6年度 相談窓口担当者向け自殺予防相談対応講座 プログラム

【基礎編】9月18日（水）9:30～16:00

時 間	内 容	講 師
9:30 ～ 9:35	オリエンテーション・事前アンケート記入 挨拶	精神保健福祉センター職員 精神保健福祉センター所長
9:35 ～ 10:25	講義① 「自殺に関わる精神疾患の基礎知識」	精神保健福祉センター所長 (精神科医師)
10:25～ 10:30	休憩	
10:30～ 10:40	アイスブレイク	精神保健福祉センター職員
10:40～ 12:00	講義②・演習 「ゲートキーパー養成(支援者向け)出前講座」	精神保健福祉センター職員
12:00～ 13:00	昼休憩	
13:00～ 15:30	講義③・演習 「『死にたい』気持ちに寄り添う(仮)」	佐賀県総合福祉センター 専門心理判定員 中島由紀子氏
15:30～ 15:40	休憩	
15:40～ 16:00	総括、リラクゼーション	精神保健福祉センター職員
	終了・事後アンケート結果記入	精神保健福祉センター職員

※予定は当日変更となる場合があります。

【中級編】11月 8日（金）13:30～17:00

時 間	内 容	講 師
13:00 13:30	受付 開講	精神保健福祉センター職員 精神保健福祉センター所長
13:35～ 15:00	講義① 「高齢者と自殺」仮題	好生館精神科医師 石井博修 先生
15:00～ 15:10	休憩	
15:10～ 16:30	講義②・演習 「自殺のアセスメント」 (動画視聴及びロールプレイによる)	精神保健福祉センター職員
16:30～ 16:50	振り返り・リラクゼーション・支援者のメンタルヘルス	精神保健福祉センター職員
16:50～ 17:00	・総括 ・事後アンケート記入後終了	精神保健福祉センター職員

※予定は当日変更となる場合があります。